



心と心をつないで～盲導犬ユザからの手紙～

埼玉県福祉教育推進員

水出智津 & ユザ

こんにちは。私はラブラドル・レトリバーのユザです。今は引退してのんびり暮らしていますが、10歳ま

で盲導犬でした。

私の役目は、「目の見えない智津さんを安全に導く」こと。それと、智津さんと一緒に学校に行き、「盲導犬の役割を伝える」お仕事もしていました。学校へ行くとみんなが「えらいね」と褒めてくれるので、私はいつも得意顔でした。

でも、本当のことを言うと、盲導犬になったばかりのころは、不安な気持ちでいっぱいでした。優しいパピーウォーカーさんや盲導犬の訓練士さんとお別れして寂しかったし、智津さんにハーネスを付けられて「階段を探して」「改札を探して」って言われても、指示通りに動けなくて失敗ばかり…集中できなくて、段差でつまずかせてしまったこともあったなあ！

でも家に帰ると、智津さんはいつも私の頭をなでながら、笑顔でいっぱい話しかけてくれました。私と仲良くなりたがっているんだなと感じたの。そんな時は私も、体を擦り寄せ、しっぽを振って、「明日また頑張ってみるよ。」と心の中で言いました。

そして半年たった頃、「智津さんだーいすき！一所懸命、集中、集中！上手に、たくさんお仕事をしたいな。」と思うようになっていました。

心を伝え合って、時間がかかることだけど、素敵！と一っつも大切なんだわん！

ああ、智津さんに会いたくなっちゃった。お昼寝をしたら夢で会えるかな？



※水出さんは、未来くる先生として、盲導犬とともに福祉教育の推進のために活躍されています。

保護者の皆様へ



さいたま市教育委員会
いじめや自殺など子どもをめぐる痛ましい事件が発生しております。さいたま市教育委員会は、市にゆかりのある方々に御協力をいただき、子どもたちに「希望をはぐくむメッセージ」をお届けすることといたしました。

学校では、子どもたちにメッセージを読み聞かせました。ぜひ御家庭でも話題にさせていただきよう願っています。